

# えべつ 市議会だより

平成24年5月1日発行

## No.109

発行 江別市議会  
江別市高砂町6番地  
電話011(381)1051

編集 市議会報編集委員会

印刷 笹岡印刷株式会社



～入学式へ（野幌若葉小学校）～

新年度一般会計予算は392億4千万円に

## 主な内容

- ◇第1回定例会の概要…… 2～3
- ◇第1回臨時会の概要…… 3
- ◇一般質問…… 4～7
- ◇予算審査の概要…… 7
- ◇意見書…… 8

市議会ホームページ <http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/gikai/>

障がいのある方のための、点字とカセットテープによる「えべつ市議会だより」もあります。

〔詳細〕福祉課障がい福祉係 ☎381-1031

# 平成24年 第1回 定例会

第1回定例会は3月1日から26日まで26日間の会期で開かれました。  
 新年度各会計予算をはじめ、各種手数料や使用料に関する条例の一部改正などの議案39件、陳情1件、意見書案4件外を議了しました。  
 一般質問は8日、9日及び12日の3日間行われ、11名の議員が市政全般にわたって見解をたしました。  
 議案と予算審査の内容についてお知らせいたします。

## 条 例

◎手数料条例・勤労者研修センター条例・陶芸の里条例・農村環境改善センター条例・都市公園条例・体育施設条例・公民館条例の一部改正

住民票の交付やスポーツ施設などの利用に対する市民負担を、経済状況等を反映した適正なものとするため、全面的に見直したものです。  
 手数料は平均0・84%、使用料は平均2・11%の引上げとなり、一部を除いて10月1日から実施されます。



◎乳幼児等医療費助成条例等の一部改正

現在、乳幼児等・ひとり親家庭等・重度心身障害者医療

費助成制度における市民税課税世帯の3歳から小学校修了前の児童の医療費負担は1割となつていますが、子育て世帯の負担を軽減するため、10月1日から、入院に限って一月当たり580円の負担に改めるものです。

◎市税条例の一部改正

今回の改正は、個人市民税では、来年1月1日以降に支給される退職手当に対する税額控除を廃止するとともに、震災復興財源を確保するため、26年度から10年間、均等割を500円引き上げるものです。  
 また、たばこの小売価格に変動はありませんが、道税から市税へ税源を移すことに伴い、来年度から市たばこ税率を引き上げるものです。

◎国民健康保険税条例の一部改正

健全な事業運営と負担能力に応じた公平な課税を行うため、基礎課税分及び後期高齢者支援金等課税分の限度額をそれぞれ1万円引き上げ51万円と14万円に、また、介護納付金課税分については、2万円引き上げ12万円に改めるものです。

◎介護保険条例の一部改正

65歳以上の市民が負担する介護保険料は、計画に沿って3年ごとに改定されることになっていきます。

改正により基準額は13・6%増の月額4千520円になりますが、軽減措置を導入するほか、保険料の低減を図るため、所得段階を7段階から10段階に細分化するものです。

◎子ども発達支援センター条例の一部改正

本年4月からの制度改正に伴い、子ども発達支援センターが実施している児童デイサービス事業が、未就学児を対象とするものと学童以上を対象とするものに区分されます。  
 また、新たに創設された相談支援事業を行うために使用料を定めるものです。

◎市営住宅条例の一部改正

地域の自主性と自立性を高めるための一括法の施行に伴い、市営住宅の入居者資格に関する規定を整備するほか、暴力団員の入居を排除する規定を新たに設けるものです。

◎防災会議条例の一部改正

防災会議に女性や福祉関係者等の多様な意見を反映させ

るため、委員定数などの規定を整備するものです。

◎印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正

外国人登録法が廃止され、外国人住民にも住民基本台帳法が適用されることから、外国人住民の印鑑登録に関する規定などを整備するものです。

◎道路占用料条例の一部改正

国及び北海道に準拠し、地価水準の変動等を基に、占用料を改正するものです。

◎議会の議員その他非常勤の職員等の公務災害補償等に関する条例・高齢者福祉施設条例・放課後児童クラブ利用者負担金徴収条例の一部改正

関係法令の一部改正に伴い、条文で引用している条項の整備を行うものです。

◎病院事業、水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部改正

地方公営企業の経営の自由度を高める目的で資本制度が見直されたため、これまで法律に規定していた利益や資本剰余金の処分方法を新たに条例で定めるものです。

# 人事・一般議案

ページ及び8ページをごらんください。

みにより、総額で1千878万7千円を増額しました。

# 陳情

## 第1回臨時会

1月30日～2月1日

### ◎公平委員会委員の選任

◇杉野邦彦氏（札幌市厚別区大谷地東3丁目3番）の選任に同意。

### ◎市道路線の認定及び変更

江別の顔づくり事業に係る道路整備等に伴い、新たに5路線を認定し、3路線を変更した結果、市道総数は2千375路線、総延長は831・89kmとなりました。

### ◎北海道市町村総合事務組合規約の一部変更

組合を構成する団体の変更に伴い、必要な改正を行うものです。

### ◎和解について

市民会館の指定管理者の指定取消しに伴い生じた損害の賠償を求めたことについて、相手方と合意したものです。

# 予算

### ◎平成24年度各会計予算

一般会計の外、4特別会計と3企業会計予算が可決されました。審査経過等については、7

### ◎平成23年度各会計補正予算

○一般会計(第5号) 決算見込みの反映や国等の補正予算、その他緊急を要するものへの措置などにより、1億7千512万2千円を増額し、予算総額は、396億1千214万5千円になりました。

### ○国民健康保険特別会計

前年度の剰余金を基金へ積み立てるなど2億4千436万6千円を増額し、予算総額は、132億2千932万3千円になりました。

### ○介護保険特別会計

制度改正によるシステム改修経費として572万3千円を増額し、予算総額は、72億5千67万3千円になりました。

### ○水道事業及び下水道事業会計

事業の確定や決算見込みなどにより、水道事業は総額で5千36万7千円を減額し、下水道事業は1億5千530万5千円を減額しました。

### ○病院事業会計

収入・支出に係る決算見込

# 報告

◎江別振興公社、在宅福祉サービス公社、スポーツ振興財団の事業計画に関する書類  
市が出資している公社や財団の新年度事業計画が報告されました。

### ◎専決処分の承認(一般会計補正予算(第4号))

例年を大きく上回る降雪に対応するため、本年2月9日付けで市長が専決処分した除排雪経費など合計2億3千万円の補正予算を承認したものです。



## 一般会計補正予算(第5号)の概要

事業内容	補正額(千円)
基金積立金(22年度決算剰余金等の積立て等)	213,834
職員人件費(給与改定等による減額)	△78,887
障害者自立支援給付費(利用者の増加による追加)	55,000
重度心身障害者医療費(入院等医療費の増加による追加)	18,533
子ども手当関連経費(制度改正による減額)	△207,830
病児・病後児保育事業(利用者の増加による追加)	11,167
江別の顔づくり事業(土地区画整理に係る補助事業費の確定による減額)	△40,589
小中学校施設整備事業(対雁小学校外計5校の施設改修工事等による追加)	212,113
公債償還元金・利子等(借入れ利息の確定等による減額)	△29,858
他会計繰出金(水道事業会計外計3事業会計への繰出金の減額)	△17,972
その他(障害者日中一時支援事業外計27事業)	39,611
補正総額	175,122

■採択となった陳情  
◎障害者総合福祉法に関することについて  
江別市精神障害回復者クラブ 江別空色クラブ  
会長 土屋晴治氏

◎指定管理者の指定  
平成24年4月1日から4年間、市内26か所の都市公園を管理運営する指定管理者として、草野作工株式会社を指定するものです。

# 一般質問

今定例会では、11人の議員が一般質問を行いました。各議員が行った質問の中から、2項目を選び、要約して掲載しています。

そうま よしか  
**相馬 芳佳** 議員

公明党

## 高齢者の見守り

**問** 高齢者の外出時に携行できる身元確認のシステムづくりが必要ではないか。

**答** 市では、はいかひの心配がある65歳以上の高齢者に小型発信器を貸し出しているほか、ケアマネジャーや地域包括支援センター職員などが、家族の相談に応じている。

今後、はいかひ高齢者が増加すると考えられることから、高齢者の見守りの強化は重要と考えており、他市の事例も参考に当市に適した体制づくりを検討していきたい。

## 教職員住宅の利活用

**問** 当市に移住を考えている子育て世代へ空き住宅を提供する考えはないか。

**答** 現在の教職員住宅の入居



萩ヶ岡教職員住宅

この他、震災被災者への支援、地方公営企業会計制度変更の当市への影響、有機農産物の認証などについて質問がありました。

率は約58%だが、建物の状況や入居必要数に見合った戸数になるよう、新耐震基準に適合している萩ヶ岡教職員住宅へ集約する考えである。

住宅は教職員の厚生施設として人事異動への対応はもとより、災害時には待機場所としての使用も想定しているため転用は難しいと考えている。

つのだ はじめ  
**角田 一** 議員

自民クラブ

## 若者の活動拠点

**問** 大学生などの若者によるまちづくり活動を支援するため、拠点施設の整備やシステムづくりが必要と考えるがどうか。

**答** 市には特定の世代を対象とした施設計画はないが、若者の活動支援は、市が支援する活動団体のサポートや地区センター等の既存施設を活用することで対応したい。

また、システム化については、学生の意見はもちろんのこと、福祉・経済も含めた様々な団体の意見も参考に最善な方法を検討し、連携を図りたい。

## 体育施設の更新計画

**問** 施設の老朽化が進んでおり、改修などの将来計画について伺う。

**答** 体育施設については、市民スポーツの振興と防災などの観点から、スポーツ振興審議会や関係団体等の意見を聴き、将来の体育施設全体の在

り方について見直し検討する必要があると考えている。

市民体育館や青年センターは新耐震基準以前に建てられているが、非常時の収容避難所に位置付けられているため、順次耐震化する考えである。

この他、市の財政について、鉄東線・鉄西線の交通安全対策について質問がありました。

ほんま けんいち  
**本間 憲一** 議員

民主・市民の会

## コミュニティバス

**問** 交通サービスを地域で支える仕組みづくりを前提として、コミュニティバスの運行を検討できないか。

**答** 今後の取り組みは、行政、交通事業者の外、福祉部門など多様な事業主体との連携や利用者を含めた地域全体での参画が必要と考えている。

(仮称)公共交通検討会議を設置し、高架化に伴う野幌地区の道路網整備なども視野に入れ、既存のバス路線やコミュニティバスの運行など交通体系の在り方について検討していきたい。

## U字溝の維持管理

**問** 道路側溝の維持管理はどのように行われているのか。

**答** U字溝の維持管理については、道路パトロールにより危険箇所の点検を行い、清掃が必要な場合には地元自治会と協議し補修や清掃をしている。自治会による町内一斉清掃の際には、市がU字溝から発生したごみを回収するなど市民との協働による道路清掃を行っている。

今後とも、広報等を通じて市民の理解と協力の下に安全で快適な維持管理に努めたい。

もりよし いさむ  
**森好 勇** 議員

日本共産党議員団

## 人口予測とまちづくり

**問** 今後も人口減少は避けられないが、鉄南地区の開発など江別の顔づくり事業を見直す必要があるのではないか。

**答** 第5次総合計画では、平成25年の人口を13万2千人と想定しており、環境と調和する都市の構築や拡大型から集約型への土地利用の移行を指向している。

顔づくり事業は、コンパクトな市街地形成などによる歩いて暮らせるまちづくりを指すもので、高齢化や人口減にも対応した事業であると考えており、着実に進めたい。



鉄南地区の駐輪場

### 公契約条例

**問** 公共工事において、労働者の賃金の最低基準を義務付ける公契約条例の制定に対する見解を伺う。

**答** 公契約条例の目的は、市が発注する公共工事等で従事する労働者の適正な労働環境の確保、工事やサービスの質の向上等がある。

公契約においては、入札や契約の過程で透明性、競争性や公平性が確保され、適正な価格により受注、履行されるべきと考えており、条例を含め実効性のある制度や仕組み

づくりについて研究したい。

この他、市長の政治姿勢、新年度予算等、職員定数について質問がありました。

星 秀雄 議員

改革江別無所属の会

### 空き家対策

**問** 相続放棄された不在家屋の倒壊事故等の防止策は。

**答** 相続放棄された物件は、一定の手続を経て国のものになるが、この手続には通常1年以上の時間と費用を要するため、老朽化した危険家屋の対応は全国的にも進んでいない。

危険家屋の増加は、周辺環境への悪影響など安全・安心のまちづくりの観点から大きな問題と認識しており、全国的な統一ルールの確立や立法措置等について国に働き掛けのほか、危険家屋を出さない予防対策を検討したい。

### 子供たちへの節電意識の高揚

**問** 電気の恩恵や節電について、総合学習の中で取り組んでいくことが必要ではないか。

**答** 当市における環境教育としては、独自に作成したエコチャレンジノートや消費電力を測定するエコワットを利用した学習、さらに太陽光発電の出前授業などを実施している。

現在、ごみ減量の観点から省エネや節電を体験する買物ゲームを、全小学校で実施しているところであり、今後も小中学校で環境教育の充実に努めたい。

この他、市長の市政方針、北海道新幹線札幌延伸、教育行政、経済政策について質問がありました。

石田 武史 議員

改革江別無所属の会

### インフルエンザの予防接種

**問** 子供へのインフルエンザワクチン接種を希望する家庭に、費用の一部を助成すべきではないか。

**答** 公費負担により予防接種を進めるためには、ワクチンの有効性・安全性の評価を経た、法に基づく定期接種に位置付けるなど、国として接種を推奨することが不可欠であると考えている。

たい。

干場 芳子 議員

民主・市民の会

### 総合計画への子供たちの参加

**問** 老朽化が著しい人道橋の安全性の認識と、今後の整備予定は。



大麻駅こせん人道橋

**答** 大麻駅こせん人道橋は、月に1回の日常点検を行っており、22年度の構造点検でも大規模改修の必要はないと確認している。

高齢者や障がい者が利用しやすい人道橋の整備については、現在策定中の橋梁長寿命化修繕計画に基づき適正な維持管理に努めるとともに、JR北海道や国と連携しながら、安全で快適な環境整備を行い

**問** 次期総合計画の策定に当たり、子供たちの意見を反映させる場が必要ではないか。

**答** 新しい総合計画の策定に当たっては、将来の江別市を担っていく子供たちの率直な意見を聴くことが大切であると考えており、中学生や高校生、大学生との意見交換を行い、計画の検討に反映していく予定である。

子供たちが将来に夢や希望を持てる総合計画にしたいと考えており、その声を生かしていくことを大切にしたい。

### 放射能汚染防止

**問** 国は放射性物質を公害物質と位置付け、排出者責任を盛り込んだ法律を早期に制定すべきと考えるが、市長の見解は。

**答** 現在の法律は、事故の未然防止対策が中心であり、事故後の大気や土壌汚染対応に

は課題があると認識している。国では、放射性物質に関する法制度の在り方について抜本的な見直しを検討するとしており、福島第一原発の事故を原因とする災害の十分な検証を踏まえた上で、今後の法整備が進められる必要があると考えている。

この他、教育、環境政策について質問がありました。

おか ひでひこ  
**英彦 議員**

改革江別無所属の会

### 公共投資の見込み

**問** 今後5年間ほどの事業の見通しはどうか。

**答** 現時点では、通常の補修経費や既存の公共施設の改築事業が中心と考えており、江別の顔づくり関連事業の外、計画に沿った新築団地の建て替えや市立保育園の改築も想定している。

さらに、年次計画で進めてきた小中学校の耐震化は、れんがの校舎の耐震診断手法が確立したことから、安全・安心への緊急対応として前倒しにより市内4校の耐震化工事などを進めていきたい。

### 市のイメージアップ

**問** シティプロモーションのため、専門性のある人材による担当部署を設置すべきではないか。

**答** シティプロモーションとは、地域の魅力を組み合わせ、その価値を高め、発信することにより、地域イメージを向上させ、ブランド化させる取り組みである。

取り組みには、市民や企業、大学等との連携の外、専門性も重要であるが、魅力の掘り起こしのみならず、魅力をつくり出して、人・物・情報が行き交う仕組みが定まった上で組織を検討したい。

この他、幼稚園と保育園の窓口の一元化について質問がありました。

さいとう さちこ  
**齊藤 佐知子 議員**

公明党

### 自主財源の確保

**問** 公共施設に設置されている自動販売機の契約方法の見直しは。

**答** 22年度からは、市が自動販売機設置業者と直接契約を

結び、電気料金と売上げに合わせた販売手数料を徴収する方法に切り替え、歳入確保を図っている。

今後、自主財源の確保や施設利用者の利便性向上の観点から、設置主体となる指定管理者等も含め、設置や販売手数料の在り方について協議を進めるとともに、他市で導入している入札制度も視野に入れ、検討していきたい。



### 校務支援システム

**問** 教職員の事務負担を軽減するため、校務支援システムを導入してはどうか。

**答** 校務支援システムは、事務の効率化により教職員が児童生徒と向き合う時間を確保できるとともに、教職員間で児童生徒の様々な情報を共有

し、指導に生かすことができると言われており、導入する方向で考えている。

当市の小学校では、25年度をめどに全教職員へパソコン配置が完了する予定であり、システムの改善状況や管内他市の導入状況なども見守りながら、検討を進めていきたい。

この他、防災対策、自転車の安全対策について質問がありました。

うちやま よしひろ  
**内山 祥弘 議員**

民主・市民の会

### 環境保全への取り組み

**問** 法律改正に伴い、体系的な環境教育の仕組みづくりが必要ではないか。

**答** 市の環境教育は、環境負荷が少ない持続可能な社会の構築を目指して、市や事業者、市民が、自らの活動と環境への関わりを認識し、十分な配慮を行うことを目的としている。

行政や市民、企業との連携・協力をより一層推進する体系的な環境教育の仕組みづくりは、環境管理計画の後期推進計画を策定する中で、今後検

討を重ねていきたい。

### フード特区

**問** 北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区(フード特区)の指定を受けたが、本市の位置付けと役割は。

**答** フード特区として、農水産資源や加工品の安全性と付加価値の向上、市場ニーズに対応した商品開発の促進と販路拡大などを目的に、道内3地域が指定を受け、札幌・江別エリアは、食品の有用性評価、食品加工の拠点として位置付けられている。

市としては、規制の特例扱いに関する国との協議や特区内に限られる税制・金融の支援措置など、企業誘致や国の制度活用について支援を進めていきたい。

みすみ よしあき  
**三角 芳明 議員**

自民クラブ

### 農地改良

**問** 良好な農地をつくるため、土地改良や排水整備をどのように進めていくのか。

**答** 米以外の作物への転換が

進み、基盤整備は農作物の湿害を防止し、高品質な農作物の生産や作業の効率化を図る上で、大変重要と認識している。

市として、地域自治会の行う排水路の維持管理への助成の外、市道に付随する排水整備に計画的に取り組み考えであり、土地改良事業については、条件が整った場合には、必要な支援について道など関係機関と協議し、検討していきたい。

### ケースワーカーの役割

**問** 担当件数が多く、就労支援などの役割を十分に果たせていないのではないかと。

**答** 市保護課のケースワーカーは12名で、1人平均94世帯を担当している。20年度に就労支援員を配置、22年度は増員をし、体制の強化を図ってきた。

**問** 働く能力のある生活保護受給者については、ハローワークなどを活用して指導を行っており、就労支援員と連携して求職活動の支援を行い、22年度は17人が就労し、そのうち8人が自立した。

今後も就労支援員を配置し、積極的な就労支援を行いたい。

## 予算審査の概要

一般会計外各会計の新年度予算案と条例改正など関連する議案23件は、10名で構成された予算特別委員会に付託され、7日間にわたり審査が行われました。

なお、本会議では、一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計及び介護保険特別会計は賛成多数で、基本財産基金運用特別会計、水道事業会計、下水道事業会計及び病院事業会計は全員一致で、いずれも原案のとおり可決されました。

## 主な質疑

**問** 水道料金を滞納している世帯にどのように対応しているのか。

**答** 督促状の送付や電話連絡、訪問を通して、納付相談など接触の機会を設けることにより、世帯状況を把握し、分割納付など計画的な支払ができるようにしている。

また、ケースによっては、福祉部局へ相談するよう勧められているが、今後は、情報の共

有など連携体制について検討していきたい。

**問** 総合内科の受診者が増加していることから午後診療を開始する考えはないか。

**答** 総合内科医の業務は、外来、病棟管理に加え、医師不足の地域に医師を派遣する地域医療支援、通院が困難な患者に対する訪問診療、次代の地域医療を担う医師の育成など多岐にわたっている。

現在、増員となる総合内科医の配置を見直す中で、再来患者への対応を検討している。

**問** 今後の国民健康保険事業の運営見直しはどうか。

**答** 近年、被保険者数や受診件数等の伸びによる医療給付費の増加が顕著であり、予算を許さない状況と考えている。

このため、保健予防事業の推進による医療費抑制策や収納率向上に向けた取り組みを進めるほか、今後とも低所得者に対する負担軽減策など全国市長会を通じて国に対して財政支援を求めていきたい。

**問** 障がいを持つ生徒の進路に関する相談支援は。

**答** 特別支援教育は、乳幼児期から学校卒業までの長期的

な視点に立ち、一貫して適切な支援を行っていく必要があることから、教育委員会内に特別支援教育専門家チームを設けている。

進路は、本人と保護者が学校と相談の上、選択するものであるが、学校からの要請に応じて支援の在り方の外、進路についても助言を行っている。

**問** 野幌駅北口広場への地中熱ヒートポンプ式ロードヒーティングの設置は、十分な効果が見込めるのか。

**答** 地中熱ヒートポンプは、電気式やガス式など従来のロードヒーティングと比べてCO<sub>2</sub>の排出量が少ないなど環境性能に優れている。

また、23年度に行った実証実験で十分な融雪効果が確認できたことから、24年度は地中から熱をくみ上げる採熱管の設置を行う予定である。



野幌駅北口広場

## 理事者質疑

**問** 料金改定に関する考え方と市民への周知は。

**答** 使用料・手数料は、市が提供するサービスや施設利用の対価として徴収するものであるため、定期的に見直しを行い負担の公平性を図ることが重要と考えている。

見直しに当たっては、算定方法を明らかにし、市民の理解を得ることが大原則であることから、今回、各種団体に對して、あらかじめ説明の上、意見を求めているが、今後も団体に加入していない多数の個人を含めて、改定内容について十分な周知に努めたい。

**問** 高齢者の負担が増加している状況での改定であるが、十分な配慮がなされたのか。

**答** 今回の改定は、歳入の確保を目的に行ったものではなく、子育て支援や高齢者対策など様々な課題を踏まえ、必要なものは据置きにするなど配慮している。

また、全ての市民が公平に公共施設を利用できる仕組みとなるよう検討したものである。

**問** 今回の見直しは市長の市政執行方針に掲げられた政策課題と連動しているのか。

**答** 使用料・手数料の見直し目的をどのように政策に連動させるのが、これから大きな課題になると考えている。

今後、子育てや高齢者支援、人口減少への対応などの政策課題に対応するために、使用料・手数料を見直す必要があるかどうか、その都度検討していきたい。

この他、総務文教常任委員会所管では、学校施設の整備事業、交通に関する調査事業など、生活福祉常任委員会所管では、協働によるまちづくり事業、消防署江別出張所への救急隊24時間配置についてなど、経済建設常任委員会所管では、新米団地の建て替え事業、フード特区を推進する事業などに関する質疑を交わしました。

## 意見書

次の意見書を国に提出しました。

◎障害者自立支援法に替わる新たな法律の制定を求める意見書

平成23年7月に、障害者基本法が改正され、同年8月には、障がい者制度改革推進会議の下に設けられた総合福祉部会で、障害者総合福祉法の骨格に関する提言が取りまとめられました。しかし、本年2月に示された厚生労働省案は、この提言が反映された内容とは言えません。

このため、障がいの有無にかかわらず人格と個性を尊重しながら共生できる社会の実現を目指した法律を制定するよう国に要望しました。

◎基礎自治体への円滑な権限移譲に向けた支援策の充実を求める意見書

地域の自主性及び自立性を高めるための改革は、国と地方が対等の立場で対話できる関係へ転換を進めていくものでなければなりません。

このため、権限移譲に伴い必要となる財源措置を確実に

講じるほか、地域の実情に応じた権限移譲や地方との十分な協議など基礎自治体への円滑な権限移譲に向けた支援策の充実を図るよう国に要望しました。

◎混合型血管奇形の難病指定を求める意見書

混合型血管奇形は、治療方法が未確立であり、かつ十分な医療支援が受けられないことから、患者や家族の精神的、経済的な負担は非常に大きなものになっています。

このため、混合型血管奇形を難病に指定し、原因の解明や治療方法の研究を継続するとともに、患者が安心して治療を受けられるよう国に要望しました。

◎医療計画、二次医療圏の基準見直しに関する意見書

厚生労働省が定める医療計画作成指針に人口規模の基準が盛り込まれると、地域医療や、広域機能を発揮してきた地域センター病院が崩壊しかねません。

このため、医療計画作成指針について、これまでのように地域ごとの条件を十分考慮する中で、地域医療が確保されるよう国に要望しました。

## 議会の動き

〔1月〕

23日 総務文教常任委員会  
経済建設常任委員会

24日 議会運営委員会

30日～2月1日

第1回臨時会

30日 経済建設常任委員会

31日 経済建設常任委員会

〔2月〕

1日 議会運営委員会

9日 議会改革小委員会

20日 経済建設常任委員会

生活福祉常任委員会

21日 総務文教常任委員会

24日 議会運営委員会

27日 議会改革小委員会

〔3月〕

1日～26日 第1回定例会

1日 予算特別委員会

2日 生活福祉常任委員会

経済建設常任委員会

総務文教常任委員会

6日 総務文教常任委員会

予算特別委員会

7日 生活福祉常任委員会

8日 議会運営委員会

8日～12日 一般質問

〔4月〕

5日 議会改革小委員会

16日 議会報編集委員会

25日 議会改革小委員会

9日 図書室運営委員会  
13日～21日 予算特別委員会  
21日 総務文教常任委員会  
26日 議会運営委員会  
議会報編集委員会

## 編集後記

あれほど厳しかった寒さと雪の季節も終わり、桜の便りも聞こえてきました。

3月の議会では、各会計予算をはじめ、使用料・手数料に係る条例改正など多くの議案について審査し、白熱した議論が交わされました。全ての条例案が可決され、新年度がスタートしましたが、改めて、市民を代表する議会の重みを感じています。

これからもより良い江別市を目指して、市民の皆さんと共に歩んでいきたいと思えます。